

乙女高原ファンクラブ 2013年度

活動報告(ダイジェスト版) 2013.3.~2014.2.

■こんな1年間でした

1. 1年間で9名の入会者があり、現在、総入会者数は657名です。
2. 活動への参加者数はのべ660人でした(2004年度:811人, 2005:1200人, 2006:1378人, 2007:1344人, 2008:1253人, 2009:1176人, 2010:834人, 2011:758人, 2012:590人)。
3. 第14回遊歩道作りを予定通り実施。同時に麻布大学高槻研究室による草刈り実験の準備もしました。草原内に方形柵を、遊歩道ロープにタグを付けました。
4. 今年で3年目となるスマレ観察会を5~6月に3回,案内人・依田さんを講師に実施。
5. 6・8・9月と年3回のマルハナバチ調査を行うのは11年目。1回目は雨で中止。
6. 乙女高原で牧丘第一,第二,第三,日下部小学校の子どもたちを案内しました。
7. 7月31日に多田さんを講師に「乙女高原を歩こう」を行いました。
8. 8月21日には遊歩道で使う杭づくりを行いました。
9. 9月,東京農工大学星野研究室と協働で藁撒き実験地の植生調査を行いました。
10. 6月,9月に特定のコドラートで時期をかえて草を刈る「草刈り実験」を麻布大学高槻研究室と協働で行いました。
11. 11月23日に第14回目となる草刈りボランティアを実施。185名が参加しました。昨年に引き続き,(株)田丸と協力して刈り草を琴川ダム残土処分場に運び込んだり,ブナじいさんの根元に落ち葉をかけるキッズボランティアを行ったりした。
12. 第13回乙女高原フォーラムには67名の参加者があり,「テンの目に写る乙女高原の自然」をテーマに,大分の足立高行さんのお話を中心に行いました。
13. フォーラムに関連して市民会館ロビーで『ようこそ乙女高原へ』展IXを行いました。
14. 11年分のメールマガジンを編集して『乙女高原大百科』を刊行し,山梨・甲州市内の全小中高等学校等に寄贈しました。
15. 次の団体から助成金・寄付金をいただきました。
(株)田丸グリーン基金(10万円),セブンイレブン記念財団(58万円),赤い羽根ボランティア市民活動助成金(8万円),山梨市「乙女高原保護活動事業」補助金(7万円),山梨市観光協会牧丘支部(1万円),山梨技建(1万円),成城学園生物部年輪会(5千円),イオン石和店・マックスバリュ東海(7,600円)
16. 計9回の乙女高原連絡会議・世話人会を開催し,各行事の計画を立てたり,実施後の反省を行ったりしました。連絡会議では山梨県・山梨市の担当者も交え,企画を練ったり,実施後の反省を共有したりしました。
17. 会報「乙女高原が好き!」を年4回発行しました。
18. メールマガジンを年17回配信し,ホームページの情報をこまめに更新しました。
19. 2009年に始めたデータロガーによる気温の計測を継続しました。
20. 環境省・日本自然保護協会によるモニタリング1000里地里山調査に登録しました。
2014年3月からアカガエルの産卵調査を開始します。
21. 遊歩道づくり,草刈りボランティア,乙女高原フォーラムは県・市との共催事業でした。今後とも行政との協働で乙女高原の自然を守り育てていきたいと思えます。

■ 1年間のおもな活動の足跡

■ 3/11 2011 年度定期総会



牧丘総合会館を会場に。出席 13 名。委任状 126 名。来年度の活動計画等とともに新世話人の選出も行った。

■ 5/12 第 14 回遊歩道作り



参加者 60 名。ロープの束を本部に置いておき、そこからロープをどんどん延ばしてもらったので、からまることもなく作業を進めることができた。

■ 5/12 第 1 回スミレ観察会



参加者 15 名。遊歩道づくりの午後、実施。講師は「フィールドガイドⅢスミレ・ウォッチング」編集代表の依田さん。多くのスミレの花が観察できた。

■ 5/13 方形柵実験



草原内に 1m 四方の柵を数カ所設置し、その中へのシカの影響を排除し、植物の成長を柵内外で比較した。麻布大学高槻研究室の全面的な協力を得た。(柵設置は 11 月まで)

■ 5/25 第 2 回スミレ観察会



参加者 15 名。まずはヨモギ頭に移動し、いろいろなスミレを探した。次にシロバナサクラスミレのポイントに移動。午後からは湿地でアルガスミレやミドリタチツボスミレが見つかった。

■ 6/8 第 3 回スミレ観察会



参加者 9 名。ヨモギ頭をめざし、エゾノタチツボスミレを観察した。そのほかにはギンリョウソウやミヤマニガイチゴ、チゴユリやクワガタソウの花を観ることができた。

■ 6/15 第 1 回刈り取り実験



参加者 8 名。草原内で違う時期に刈り取りをし、刈り取りに対する草原植物の反応の違いを明らかにすることを目的に、麻布大学高槻研究室の全面的な協力を得た。実験区一つは 10m 四方の方形区。

■ 7/5 他 小学校の案内

No photos

この日は牧丘第三小学校 4 年生を対象に乙女高原案内人が自然解説。7 月 24 日には日下部小学校の夏季自然観察クラブの参加者 40 を対象に、8 月 29 日には牧丘第一小学校の 5 年生を対象に、9 月 12 日には牧丘第二小学校 5 年生を対象に乙女高原案内人が自然解説をした。

■ 7/31 多田さんと歩こう



参加者 30 名。乙女高原フォーラムで楽しく植物の話をしてくださった多田さんを講師に植物たちの『オモシロ私生活』を紹介していただいた。

■8/4 第11期マルハナバチ調べ隊①



参加者 8 名。ラインセンサスの結果は 59 頭。午後からは待ち伏せ調査を実施した。最後に全員で調査結果を共有し、終了した。

■8/25 遊歩道の杭作り



参加者 8 人。午前中に材料となる間伐材を調達し、午後からロッジのテラスで間伐材の皮をむき、片方の先をチェーンソーで尖らせた。杭計 97 本となった。

■8/31 藁撒き地の植生調査



参加者 7 人。一昨年から乙女高原の刈り草をダム残土処分場に運んで草原再生を加速させる実験をしているが、その調査を東京農工大学星野研究室と合同で行った。

■9/1 第2回刈り取り実験



参加者 14 名。方形区内の植生調査をし、「6月・9月区」と「9月区」の方形区内の草を刈った。草は琴川ダム残土処分場に運び、実験区の中に敷き入れた。

■9/8 第11期マルハナバチ調べ隊②



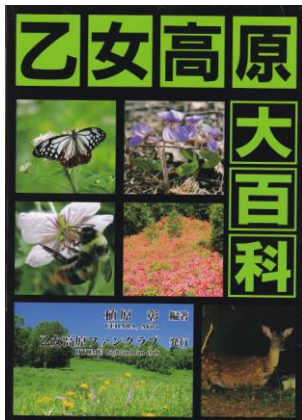
参加者 4 名。朝から雨だったがラインセンサス調査をした。雨でもたくさんのマルハナバチが飛んでいた。

■11/23 第14回草刈りボランティア



参加者 182 名。キッズ班は林道の落ち葉を集め、ブナ爺さんの根元に入れた。草刈り班は草刈り後、草運び班と藁撒きに合流して草をゴミ収集車に積んで焼山へ運んだ。

■11/23『乙女高原大百科』出版



11 年間に配信した 269 通のメールマガジンを編集して作った A4 判 600 ページの本。セブンイレブン記念財団の助成を受けた。

■1/13~26 乙女高原展区



山梨市民会館ロビーをお借りした展示会。ファンクラブの活動報告パネル、鈴木さんの写真などを展示した。

■1/26 第13回乙女高原フォーラム



山梨市民会館ちどりの間にて。「テンの目に写る乙女高原の自然」をテーマに動物生態学者足立高行さんらをゲストに迎えて行った。参加者 67 名。

■乙女高原ファンクラブまで。乙女高原ファンクラブから。

- 1998.8 乙女高原自然教育研究会執筆・写真・編集による『乙女高原フィールドガイド』発行。
1999.9 「乙女高原の森」連絡会議発足。
2000.3 乙女高原スキー場用地使用協議の廃止。
2000.10 「乙女高原の森」連絡会議「乙女高原の森の保全および活用に関する提言」を県に提出。
2000.11 第1回「乙女高原の草原を守る！」草刈りボランティア開催。

2001.4 乙女高原ファンクラブ発足

発足記念映画会 吉永小百合『明日は咲こう花咲こう』

- 2001.5 草原内の遊歩道を全面的に改定。土壌流失のひどい遊歩道は閉鎖。新遊歩道開設。
2001.11 乙女高原ファンクラブ公式ホームページ公開開始。
2002.3 **新事業**・第1回乙女高原フォーラム開催（ゲストは西丸震哉さん）西丸流自然とのつきあい方
2002.11 やまなし山の日イベント大賞受賞（受賞対象は乙女高原自然講座）
2003.4 **新事業**・乙女高原案内人養成講座スタート（03,04,05,08の4期）
2003.6 イタドリ刈りの刈り取り実験用コドラート設置
2003.6 **新事業**・マルハナバチ調べ隊スタート。（毎年3回）
2003.10 乙女高原で8月にマーキングされたアサギマダラが愛知県田原市衣笠山で再捕獲
2003.10 土壌観察会（筑波大学土壌環境化学研究室と共催）
2003.11 第4回乙女高原の草原を守る！で、キッズボランティア開始
2004.1 やまなし環境財団より若宮賞受賞
2004.4 (株)田丸グリーン基金より協力参加費をいただく。（以後、毎年）
2004.6 **新事業**・イタドリ刈りスタート。（2007年まで4年間）
2004.7 乙女高原案内人による夏の自主インタープリテーション活動開始（以後、毎年）
2004.12 真っ赤になったグリーンロッジの屋根について町と町教育委員会に意見書提出
2005.4 「みどりの日」自然環境功労者環境大臣表彰受賞
2006.1 **新事業**・山梨市民会館ロビーにて乙女高原展開催（以後、毎年）
2006.5 月に一度の乙女高原案内人勉強会スタート
2006.9 コカ・コーラ環境教育財団より環境教育賞主催者賞をいただく。
2006.12 山梨鈴木助成事業財団の助成により『乙女高原案内人 誕生と成長の記録』刊行。
2007.3 石和サティの「しあわせの黄色いレシートキャンペーン」に参加。
2007.6 全労済の助成金を活用し乙女高原フィールドガイドⅡ『マルハナバチ』を作成。
2007.10 乙女高原案内人勉強会スペシャルツアーとして霧ヶ峰のインタープリテーションを体験。
2008.6 **新事業**・アサギマダラ調べ隊スタート（マーキングされたチョウが兵庫・高知で再捕獲）
2009.4 (株)田丸グリーン基金を活用し、乙女高原フィールドガイドⅠ『お花たち』を改訂増刷
2009.6 **新事業**・乙女高原の昆虫相調査スタート
2009.7 (社)関東建設弘済会「関東・水と緑のネットワーク拠点百選」に当選
2009.11 第10回草刈りを記念し、多大な貢献のあった10団体に感謝状と記念品贈呈
2009.11 **新事業**・乙女高原に自動温度記録計設置（気温・地温）。計測スタート
2010.5 **新事業**・草原2箇所、湿地1箇所、計3箇所にシカ柵設置。以後、モニタリングを行う。
2010.11 乙女高原が山と溪谷社・日本山岳遺産基金による「日本山岳遺産」に認定される。
2011.5-6 3回のスマイレ観察会を実施。
2011.6 麻布大学高槻研究室のシカ柵内外の植物調査に協力。
2011.11 東京農工大星野研究室・(株)田丸の協力で藁撒きプロジェクト(刈り草を残土処分場へ)を実施。
2012.1 乙女高原フィールドガイドⅢ『スマイレ』を発行。
2012.8 自主的に百葉箱を設置、ベンチ・テーブルの修理と新設、案内板を修理。
2013.6 **新事業**・草刈りの時期を変えて草刈りの効果を確認する刈り取り実験。
2013.11 11年分のメールマガジンを編集した『乙女高原大百科』を刊行。

乙女高原ファンクラブへの連絡先

【事務局】植原 彰(方) 〒404-0013 山梨県山梨市牧丘町窪平 1110-3
TEL FAX 0553-35-3682 電子メール otomefc@fruits.jp
ウェブページ <http://fruits.jp/~otomefc/>

●郵便振込● (番号)00220-8-71093 (加入者名)乙女高原ファンクラブ